

あこやかちゃん



ゆう が 悠我ちゃん(平成20年9月12日生)
両親＝根元 勝・里恵さん〔三川〕
「悠たん」1歳 三輪車大好き
ご近所のチョットした人気者です」



か なつ 奏夏ちゃん(平成19年8月24日生)
両親＝石井嘉一・英子さん〔鎌数〕
「とにかくアンパンマン大好き☆」



こう せい 孔翔ちゃん(平成20年10月22日生)
両親＝加瀬正行・奈巳さん〔イ〕
「ぼくは携帯電話が大好き♡
着信音に合わせて毎日踊ってます☆☆」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



10 力石

あさひ浪漫紀行

―文化財を訪ねて―

神社境内に足を運び入れると、一抱えもある大きな楕円形の石が目につくことがあります。「力石」です。

産業・流通が発達になるとともに労働者の需要は高まりましたが、機械が発達するまでは、米俵や材木、醤油樽などの運搬をはじめ、労働の大半は人力に頼っていました。そのため、個人の体力は重要で、江戸時代後半から明治時代には、若者の間で力石を持ち上げる力くらべが、盛んに行われるようになりました。

米俵一俵(16貫≒60kg)を持ち上げることは当たり前と見なされていたことから、力石は20〜30貫の石が多かったようで、中には50貫を超える石もあります。衆目の前で力石を持ち上げることで、人生の節目を迎える通過儀礼と言えました。そして貫目が大きいく石を持ち上げられるかどうかで稼ぎをも左右する、いわば雇用条件のような役割を果たすとともに、数少ない娯楽あるいはスポーツとしての要素

◀太田神社(二)の力石



も備えていました。

力石は、市内では玉崎神社(飯岡)、雷神社(見広)、鍋木大神(鍋木)、太田神社(二)で見ることが出来ます。石の種類は、いずれも火山活動で生成される安山岩で、市内はもとより県内では産出しない石材です。力くらべの隆盛とともに、遠隔地から運び込まれたのでしょうか。希少であるとともに、石に「奉納」と刻まれているものがあることから、神にも喜んでもらいたい、認めてもらいたい願いが込められているようです。

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 1日(金) 元旦
- 4日(月) 市役所仕事始め
- 9日(土) 消防出初式(9:30〜 旭スポーツの森公園)
- 10日(日) 成人式(10:00〜 東総文化会館)
- 11日(月) 成人の日
- 18日(月) とがらしごぼう(5:00〜 西宮神社)
- 31日(日) 第5回グリーンコンサート(13:30〜 東総文化会館)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。あつという間だった1年。楽しかった出来事や、そうではなかった出来事などいろいろあったと思います。ちよっと残念だった出来事も、楽しかった事を際立たせるための隠し味みたいなものだと思います。それほど嫌なものでもないのかも。何にしても物事は、楽しく取り組むことが一番です。さて今年も、皆さんがいろいろな場面で楽しむ様子を、たくさん紹介できればと思います。黄色の腕章をしてカメラを構えている姿を見かけたら、すてきな笑顔を、どうぞよろしく。(S)